

自転車を安全で快適にご使用いただくために！

エンジェルリヤシート取扱説明書

《品質保証書付》

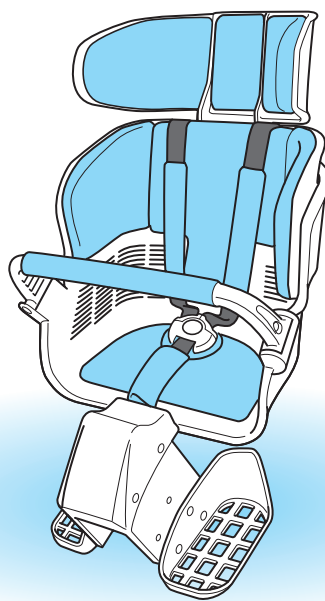
このたびは当社の製品をお買い上げいただきまして、ありがとうございます。

⚠ 警告

- この商品は適正な取り付けのため、自転車販売店で取り付けてください。正しく取り付けられていないままご使用された場合、事故またはケガにつながるおそれがあります。
- お子様の安全のために、ご使用になる前に必ずこの説明書をお読みください。読まれたあとは大切に保管し、必要に応じてご活用ください。
- 適合自転車、幼児の適用範囲の記載及び取扱説明書の記載を守らない場合は、SG規格（製品規格）の補償対象外となる場合があります。
- 6歳以上のお子様を同乗させることは道路交通法違反となり、違反の場合はSGマーク制度の賠償外となる場合があります。
※SGマーク制度は、チャイルドシートの欠陥によって発生した人身事故に対する補償制度です。

⚠ 注意

- このチャイルドシートは「幼児2人同乗基準適合車」に対応しており、幼児2人同乗の認定を受け、当該チャイルドシートを指定している自転車に装着した場合のみ、幼児2人同乗してご利用いただくことが可能です。
これ以外の車種に装着の場合は、幼児1名同乗でのご利用となります。
詳しくは、ご使用になる自転車の取扱説明書をご確認ください。



- 品番：A551702（色略号）
- 略号：RCS-AGL2



— 目 次 —

| | | | |
|-------------------------|---|-------------------------|----|
| ●警告表示 | 2 | 5. お子様をチャイルドシートから降ろすときは | 9 |
| ●はじめに | 2 | 6. 保管のしかた | 10 |
| 1. 乗車できるお子様の目安とキャリヤの制限 | 2 | ●各部の名称 | 10 |
| 2. チャイルドシートを装着する自転車について | 3 | ●チャイルドシートの操作方法 | 11 |
| 3. 取り付け時の注意 | 3 | 1. シートベルトの調整 | 11 |
| ●ご使用時の注意 | 4 | 2. バックルの固定・解除 | 12 |
| 1. お子様をチャイルドシートに乗せる前は | 4 | 3. グリップバー（取っ手）の使い方 | 12 |
| 2. お子様をチャイルドシートに乗せるときは | 5 | 4. ヘッドガード（背もたれ）の使い方 | 14 |
| 3. 走行時は | 6 | 5. フットレスト（足乗せ）の高さ変更方法 | 15 |
| 4. 幼児2人同乗時の注意 | 7 | 品質保証書 | 16 |

ブリヂストンサイクル株式会社

警告表示

警告表示は危険度・重要度の程度に応じて次の区分で表示しています。これらを守らないと事故につながったり、ケガをしたり、自転車が壊れるなどのおそれがあります。

表示の意味



警告

この表示の欄は、取り扱いを誤った場合、使用者が「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、取り扱いを誤った場合、使用者が「傷害を負ったり、物的損害を負う可能性が想定される」内容です。



禁止

この表示の欄は、「安全上してはいけない危険行為および保証範囲外の行為を表す」内容です。



強制

この表示の欄は、「使用者に必ず実行していただく」内容です。

はじめに

本商品をご使用にあたっては、以下に示すリヤキャリヤとお子様の制限をご確認の上、ご使用ください。



警告

- 推奨されていないリヤキャリヤへの組み付けや、制限体重を超えたお子様を乗せてご使用された場合、商品の早期破損・折損が生じ、ケガや事故につながるおそれがあります。
- チャイルドシートの取り付けの前にリヤキャリヤを点検してください。サビがひどい状態やグラつきがひどい場合は、リヤキャリヤを交換してください。

1. 乗車できるお子様の目安とキャリヤの制限

- 本チャイルドシートは車体専用設計になっており、他の車種には取り付けができません。
- 乗車可能なお子様の体重（着衣を含む）について

体重8kg以上20kg以下のお子様に乗車可能です。

〈参考〉適正年齢：1歳（12ヶ月）以上6歳（72ヶ月）未満*

※お子様の適正年齢について：シートベルトは装着されていますが、体格には個人差がありますので、グリップを握れる2歳以上を推奨します。

目安身長：70cm以上115cm以下

チャイルドシート重量：6kg



警告

- 上記範囲以上のお子様を絶対に乗せないでください。自転車の安定性が損なわれるおそれがあります。
- 上記の範囲内であっても、乗せるお子様の体格が大きくなるほど運転しづらくなります。お子様を乗せても、安全に運転ができることをご確認のうえ、ご使用ください。

2. チャイルドシートを装着する自転車について

本チャイルドシートは車体専用設計になっております。装着する際は販売店にご相談ください。

- ①自転車の表示、取扱説明書を確認して、装着リヤキャリアの強度区分確認等を行い、取り付けを禁止している自転車のリヤキャリアには取り付けないでください。また、取扱説明書に記載が無い場合には、販売店にご相談ください。

幼児2人同乗用自転車に取り付けるチャイルドシートは、前後各1つに限ります。

- ②必ずロック付きの両立スタンドの自転車をご使用ください。1本スタンドやロックの無いスタンドの自転車には使用しないでください。

- ③足の巻き込み防止のために、必ずドレスガードまたは足巻き込み防止ネットなどを取り付けてください。

- ④3人乗り（幼児2人同乗）自転車に取り付ける際は販売店に相談するか、自転車の表示や取扱説明書を確認し、取り付ける自転車が幼児2人同乗基準適合車であることと、このチャイルドシートが弊社指定のチャイルドシートであることを確認してください。

- ⑥小さい自転車ほど取り付け位置に制限ができたり、使用した時に安定性が低下しますので、ご注意ください。

3. 取り付け時の注意

⚠ 注意

- 安全にご使用いただくために、お買い上げいただいた販売店での取り付けをお願いします。
- 幼児2人同乗用自転車に取り付けるチャイルドシートは、前後各1つに限ります。
- 自転車のリヤリフレックスリフレクタの後方からの視認の妨げにならないように取り付けてください。
- 走行中に自転車用鍵が作動すると危険ですので、自転車用鍵にお子様の手足が届かないように注意してください。
- 取り付け時は、ネジやナットを確実に締めてください。

ご使用時の注意

⚠ 注意

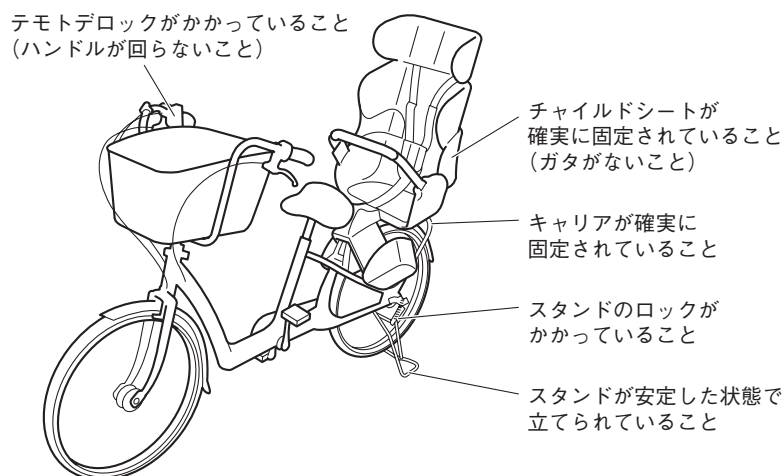
- 自転車にチャイルドシートを取り付けて、お子様を同乗させる場合、取り付けていない場合と比較して、自転車のハンドル操作性、走行安定性、制動性能が低下します。
このため、事前に安全な場所で、十分に走行練習してからご使用ください。
- チャイルドシートのシール表示や取扱説明書をご確認のうえ、ご使用ください。

1. お子様をチャイルドシートに乗せる前は

⚠ 警告

- お子様の体重、年齢、身長等の範囲をお守りください。
- 本体、フットレスト（足乗せ）、グリップ、ヘッドガード、リヤキャリアの取り付けネジ等が、しっかり締まっているか、日常点検を行ってください。
- 使用するときは、チャイルドシート及びリヤキャリアが確実に取り付けられていることを確認し、破損・変形等したまま使用しないでください。また、シートベルトが傷んでいないか確認してください。少しでも異常を感じた場合は使用を中止し、販売店にご相談ください。
- お子様にはヘルメットを着用させて使用してください。着用しない場合、事故時に重傷あるいは死亡につながるおそれがあります。着用した場合、軽傷ですむことが報告されています。また、運転者もヘルメットを着用するようおすすめします。
- お子様には必ず靴を履かせてください。
- 夏の炎天下では、直射日光が当たるシートクッションの温度は高温となります。自転車を炎天下に放置した場合は、お子様をチャイルドシートに乗せる際、やけどに十分注意してください。
- 一般のシティ車に同乗できるお子様は1人です。また、3人乗り（幼児2人同乗）の自転車に同乗できるお子様は2人までです。
- 自転車を停車（駐輪）する場所は、スタンドを立てたときに安定する場所を選んでください。また、スタンドのロックも必ずかけてください。自転車が倒れ、事故またはケガにつながるおそれがあります。
- 「テモトデロック」がかかっているか確認してください。
- この商品は、SGマーク認定基準を満たしていますが、大きな衝撃が加わると、破損・変形・クラック等が発生することがあります。一度でも大きな衝撃を受けた場合は使用をやめ、十分点検してください。（また、販売店に点検を依頼してください。）
- 特に、足乗せ部分は、このような衝撃に対して、ダメージを受けやすい部位となりますので、十分点検してください。

例：ダメージを受けた足乗せは、勘合部が外れたり、白化や亀裂が生じます。



2. お子様をチャイルドシートに乗せるときは

安全対策をした幼児2人同乗基準適合車でも、お子様の安全な乗せ方を行わないと思わぬケガをするおそれがあります。

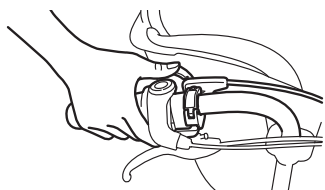
お子様2人を同乗させる場合は、次の手順で行ってください。【ブリヂストンサイクル推奨例】

※お子様1人に乗せる場合は、下記⑦⑧を省略してお読みください。

⚠ 警告

●お子様は、必ず荷物を積んだ後に乗せてください。

- ①お子様に乗せる前に、「テモトデロック」を操作し、ハンドルが回転しないように必ずロック（半固定）してください。



「テモトデロック」はハンドルの回転を完全に固定するものではありません。

- ②自転車が転倒しないように、安定性のよい平らな場所を選び、スタンドがしっかり立っていること、スタンドのロックがかかっていることを確認してください。



自転車を持ち上げる必要があるときは、リヤチャイルドシートのフットレストやグリップをもって持ち上げないでください。

- ③シートベルト・バックルを外し、グリップバーを開いてください。

- ④保護者は自転車が倒れそうになった場合でも、すぐに手で支えられる位置に立っているようにしてください。



- ⑤まず初めに年長のお子様から先に、必ずしっかりと抱いてリヤチャイルドシートに乗せます。



自転車を炎天下に放置した場合は、お子様をチャイルドシートに乗せる際、やけどに十分注意してください。



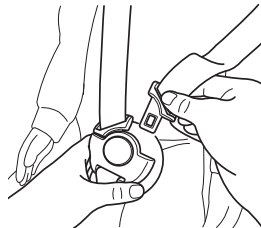
お子様が1人でチャイルドシートに乗らないように注意してください。自転車が倒れるおそれがあります。



フットレスト（足乗せ）を踏み台にして乗らないでください。強い力を加えると破損の原因となります。

⚠ 警告

- ⑥ お子様の後頭部をカバーするようにヘッドガードを調整し、シートベルトを確実に装着します。



お子様の体格や服装に合わせ、ベルト長さを調整してください。



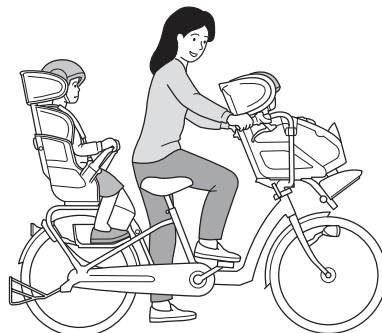
ヘッドガード上端が頭部の中心より高くなるように調整してください。

- ⑦ 次に年少のお子様をしっかりと抱いてフロントチャイルドシート（前幼児座席）に乗せます。

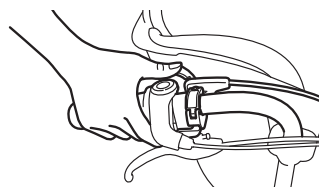
- ⑧ リヤチャイルドシートと同様にヘッドガードを調整し、シートベルトを確実に装着します。

- ⑨ お子様を乗せるときは、必ず正しい姿勢（着座）であることを確認し、特に、足が車輪に巻き込まれることのないように注意してください。

- ⑩ スタンドを上げてから、保護者が自転車に乗ります。



- ⑪ ハンドルグリップをしっかりと握ってから、「テモデロック」を操作し、最後にロックを解除します。



傾いた場所で「テモデロック」を解除した場合、路面の傾き等により不用意に自転車が動き、転倒するおそれがあります。

3. 走行時は

⚠ 警告

- 必ずシートベルトを使用してください。
- お子様の首にシートベルトがかからないように注意してください。
- シートベルトが車輪に巻き込まれないように注意してください。
- お子様は乗車中はグリップを握らせてください。
- お子様は眠らないように注意してください。
- お子様は走行中に自転車用錠やベルトバックルを操作しないように十分注意してください。

- 傘を差しながらの片手運転等、危険な行為は絶対にしないでください。



- 段差のある場所ではお子様を乗せたまま走行しないでください。

⚠ 警告

- 使用に当たっては交通法規を守ってください。



- 走行中にお子様がチャイルドシートの中で立ち上がったり暴れたりしないよう、注意してください。

- お子様を乗せたまま自転車から短時間であっても手を離さないでください。自転車が倒れてお子様がケガをするおそれがあります。



4. 幼児2人同乗時の注意

⚠ 警告（危険です、必ずお守りください！）

- お子様を2人同乗させて自転車に乗るときはスニーカーなど、かかとの低い靴をはいてください。また、スリッパや足から脱げやすい靴ははかないでください。
ペダルから足を踏み外すと、転倒する危険があります。
- フロントチャイルドシートによって、前方（特に下側）が見えにくくなります。このため、安全な場所で視界の確認をしてから使用してください。また、見える範囲の前方の障害物によく注意してください。
- お子様を2人同乗させた時は、自転車は同乗させない時に比べ運転しづらくなり、転倒する危険が増します。
 - ・ お子様の乗せ降ろしや自転車の押し歩き・走行を安全な場所で練習してから使用してください。
 - ・ 発進時や低速走行時には、ハンドルが振れることがあるので、特に注意してください。
- 道路に傾斜や段差や溝があるときはハンドルをとられやすいので、押して歩くか、ゆっくり注意して通過してください。

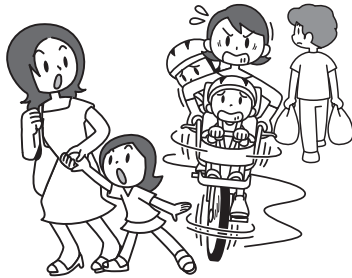
- お子様を2人同乗させた時は、自転車全体の重さが増えるので、ハンドル操作に大きな力が必要になり、押し歩き時にもバランスを崩し、自転車の立て直しができずに転倒しやすくなります。このため、下記に注意してください。

- ・ ハンドルを急に切らないでください。
ハンドルを大きく切った際に、前輪が前または後に意図しない回転をして転倒することがあります。傾斜面や路面の凹凸があるところでは、特に起こりやすくなります。



⚠ 警告（危険です、必ずお守りください！）

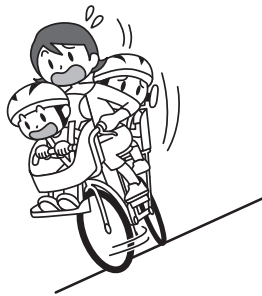
- ・歩行者などとすれ違う際によけるときは、ハンドル操作などに注意してください。
狭いところを押し歩いたり、歩行者や自転車と接触したり、同乗させているお子様の動き、路面の凹凸傾斜などによりバランスをくずしやすくなります。



●バランスをくずしにくい押し歩きの方法

押し歩き時には同乗のお子様の動きや路面の凹凸・傾斜などによるわずかなバランスのくずれによって、自転車の立て直しができずに転倒することがあるので、お子様を自転車から降ろして押し歩きをしてください。

やむをえず、お子様を同乗させて押し歩きを行う場合には、転倒の危険がありますので、以下の事項を考慮して慎重に押し歩きを行ってください。

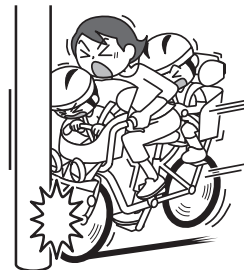


- ・自転車は垂直より少し手前に傾けて、ハンドルを握り、ブレーキがすぐかけられるようにしてください。



- ・同乗のお子様動かないように注意するとともに、路面の凹凸・傾斜などに注意して、バランスをくずさないようにしてください。
- ・押し歩きのための十分な空間がある場所であることを確認し、混雑した場所ではバランスをくずしやすいので、お子様を同乗しての押し歩きはやめてください。

- お子様を2人同乗させた時に衝突などの事故を起こした場合、自転車全体の重さが増えているので、同乗させないときに比べて衝突時の衝撃が大きくなります。このため、衝突などの事故を起こした場合は、同乗のお子様、運転者本人の被害が大きくなります。
また、歩行者や物に衝突などの事故を起こした場合も、同じく歩行者や物の被害（けが）が大きくなります。



※以上のことは、お子様を1人のみ乗せた場合も同じですので、注意してください。

5. お子様をチャイルドシートから降ろすときは

安全対策をした幼児2人同乗基準適合車でも、お子様の安全な降ろし方を行わないと思わぬケガをするおそれがあります。

お子様2人を同乗させる場合は、次の手順で行ってください。【ブリヂストンサイクル推奨例】

※お子様1人を降ろす場合は、下記⑥を省略してお読みください。

⚠ 警告（危険です、必ずお守りください！）

- お子様は、必ず荷物を降ろす前に降ろしてください。

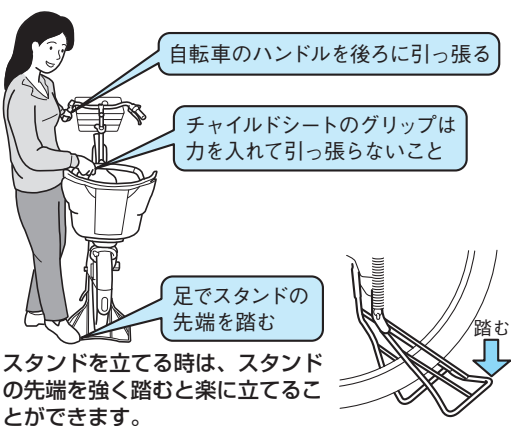
- ① お子様を降ろす前に、「リモテロック」を操作し、ハンドルが回転しないように必ずロック（半固定）してください。

バランスを崩した際にグリップから手が離れると、とっさに指をレバーのすき間などに挟む恐れがありますので、グリップをしっかり握ってください。

- ② 保護者が自転車から降りてください。

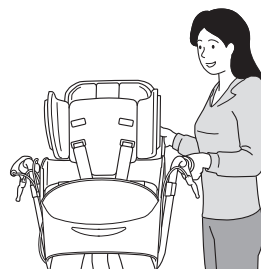
- ③ 自転車が転倒しないように、安定性のよい平らな場所を選び、スタンドがしっかり立て、スタンドのロックをかけてください。
スタンドを立てる際は、チャイルドシートのグリップを引っ張らずに、自転車のハンドルを引っ張りながらスタンドの端を踏んで、てこの原理を利用して立ててください。

ハンドルを上方に引っ張ると前輪が持ち上がり自転車が転倒しケガをするおそれがあります。



自転車を持ち上げる必要があるときは、リヤチャイルドシートのフットレストやグリップをもって持ち上げないでください。

- ④ 保護者は自転車が倒れそうになった場合でも、すぐに手で支えられる位置に立っているようにしてください。



- ⑤ フロントチャイルドシートのシートベルトを外して、年少のお子様から先に、降ろします。

- ⑥ 次にリヤチャイルドシートのシートベルトを外して、年長のお子様を降ろします。



お子様が1人でチャイルドシートから降りないように注意してください。自転車が倒れるおそれがあります。



フットレスト（足乗せ）を踏み台にして降りないでください。強い力を加えると破損の原因となります。

6. 保管のしかた

⚠ 警告

- シートベルトは消耗品です。異常がなくても2年に1度は新品と交換してください。(有料)
なお、シートベルトの交換につきましては、ご購入いただいた販売店へお問い合わせください。

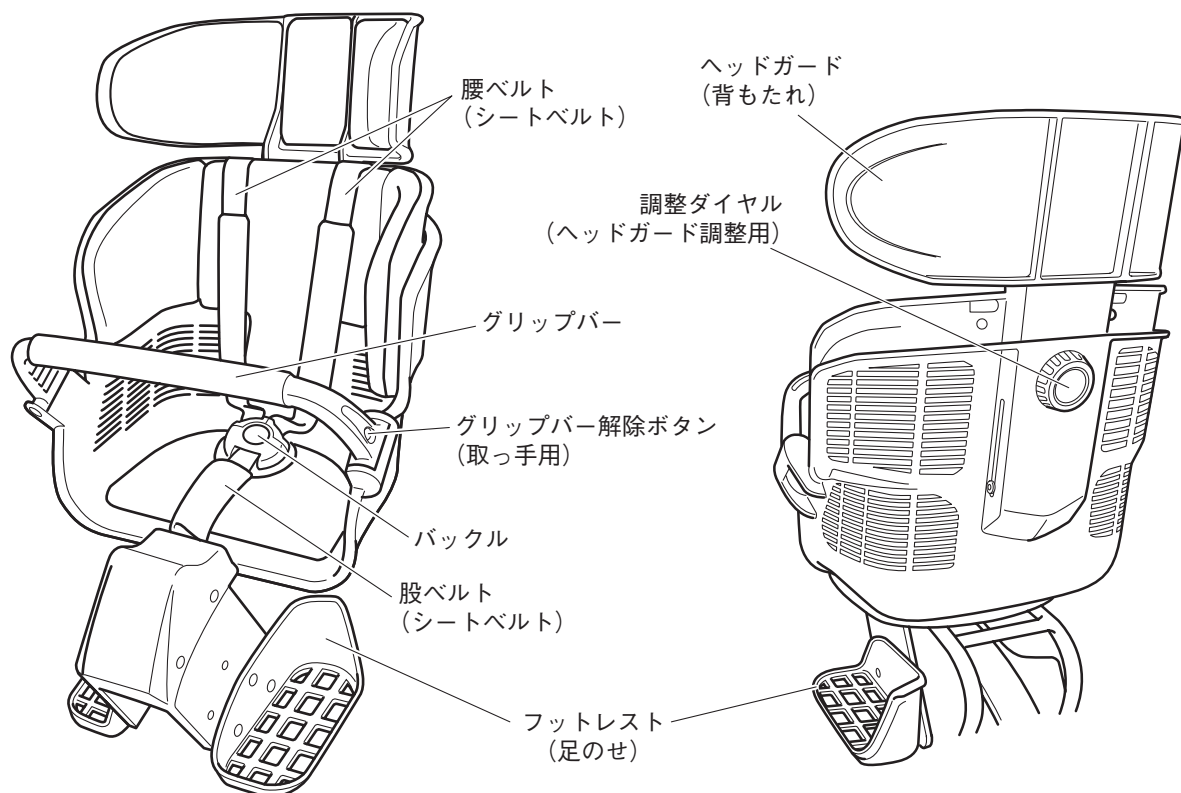
⚠ 注意

- チャイルドシートは直射日光を避けて駐輪・保管し、雨ざらしにしないでください。早期劣化の原因となります。
- 駐輪時などで、自転車を持ち上げる必要があるときは、リヤチャイルドシートのフットレストやグリップを持って持ち上げないでください。想定外の負荷により、チャイルドシートが破損する場合があります。
- お子様を乗せていないときに荷物入れとして使用しないでください。

●シートクッションのお手入れ方法

シートクッションや背部クッションが汚れた場合は、水を含ませて絞ったタオル等で拭きとってください。

各部の名称



チャイルドシートの操作方法

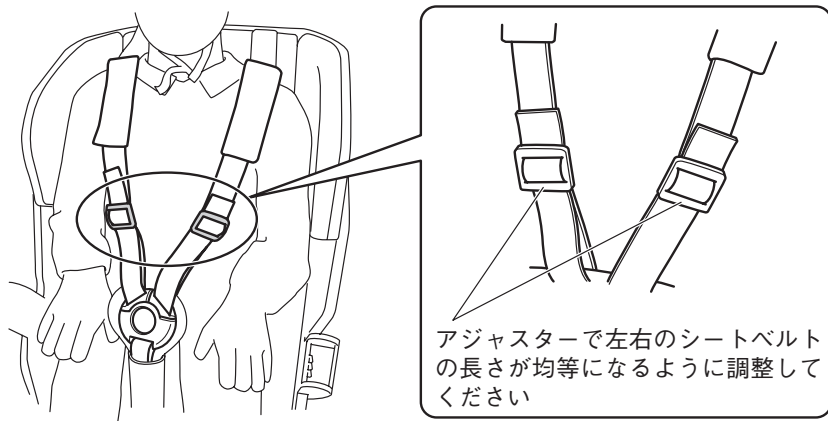
1. シートベルトの調整

⚠ 警告

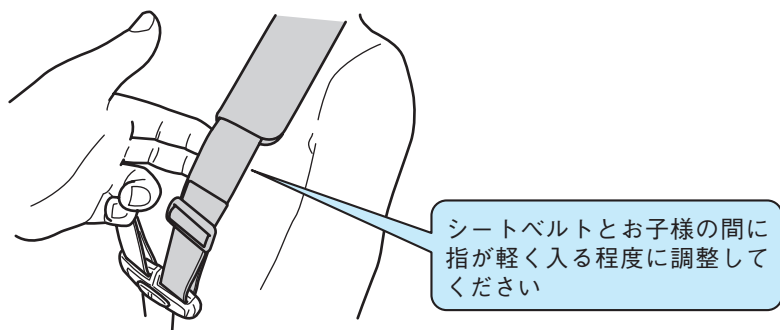
- お子様を乗せた時には、必ずシートベルトを使用してください。
- シートベルトはお子様の体格や服装に合わせ、長さを調整してください。

⚠ 注意

- お子様を乗せていない時でもシートベルトのバックルをはめるようにしてください。(パタツキ防止のため)



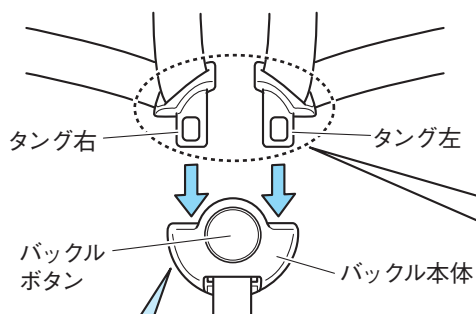
⚠ シートベルト調整時のポイント



2. バックルの固定・解除

タングは左右別々に固定し、左右同時に解除することができます。

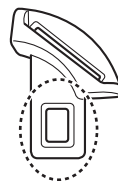
固定する時



タングはカチッと音がするまで
確実に差し込みます。

タングは表面をバックルボタン側に向ける
(図はタング左、タング右も同様)

表面



裏面

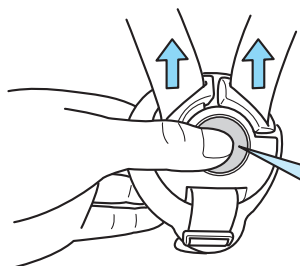


裏面は差込部の間中部に
金属が見える

⚠ 警告

- タングを差し込んだら、左右のタングを軽く引っ張り、抜けないことを確認してください。

外す時



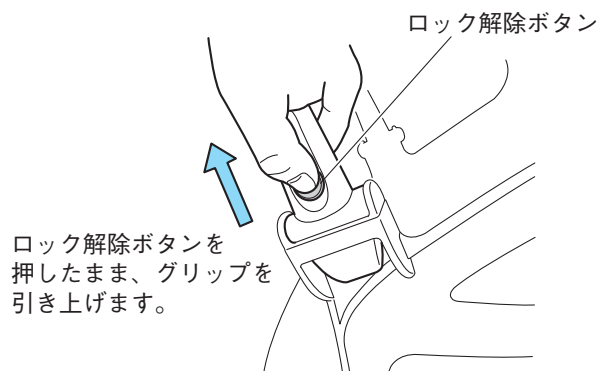
バックルボタンの中央部を押すと
左右のタングが外れます。

3. グリップバー (取っ手) の使い方

グリップバーは自転車の左側から操作してください。

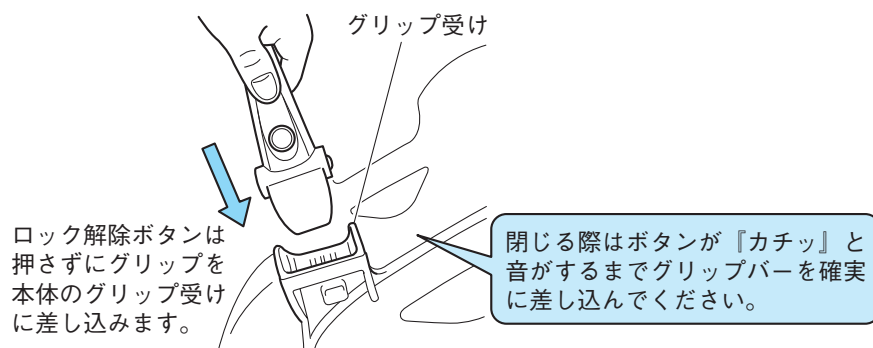
●グリップの開き方

グリップ左側のロック解除ボタンを押しながら、引き上げるようにグリップを開いてください。



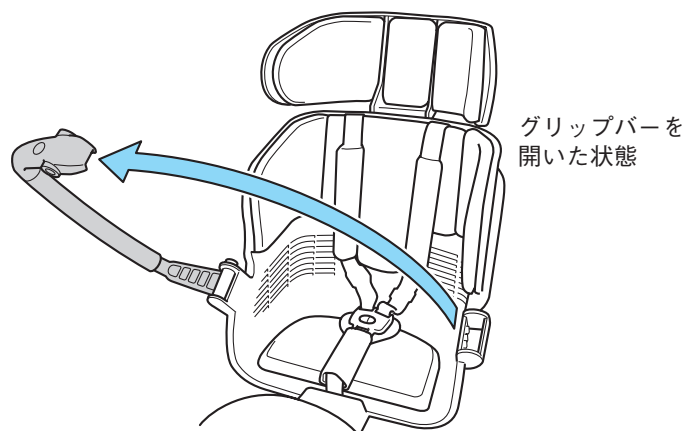
●グリップの閉め方

ロック解除ボタンは押さず、グリップをそのまま本体のグリップ受けにしっかり差し込んでください。



⚠ 注意

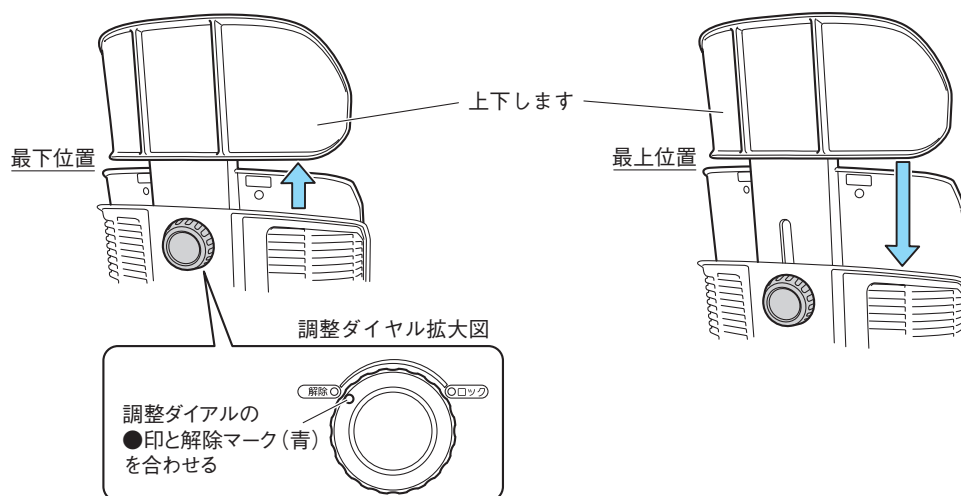
- お子様を乗せた時には、グリップバーを確実にロックしてください。
- 駐輪中も、グリップバーを開いた状態にしないでください。開いた状態で駐輪した場合、他の人にぶつかるおそれがあります。



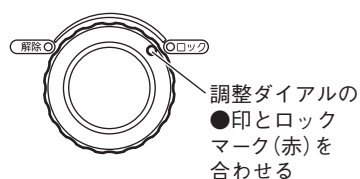
- スタンドを立てるときは、グリップに無理な力を加えないでください。
- グリップバーに物をぶら下げたり、お子様がぶら下がって遊ばないようにしてください。こわれるおそれがあります。

4. ヘッドガード（背もたれ）の使い方

- ヘッドガードはお子様の体格に合わせて高さを調整してください（可動範囲は約10cm）。
- 調整ダイヤルを『解除』の位置にするとヘッドガードを上下することができます。



- 調整ダイヤルを『ロック』の位置にするとヘッドガードを固定することができます。

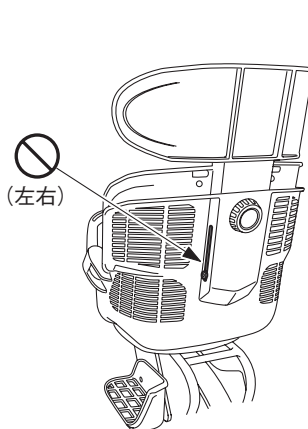


⚠ 走行時は必ず『ロック』位置にしてください。

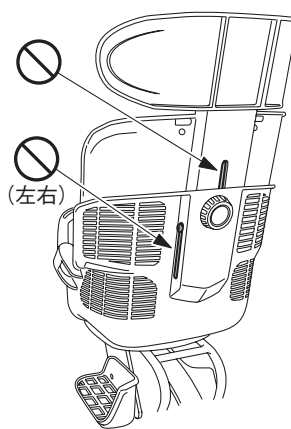
⚠ ヘッドガード調整時のポイント



ヘッドガードを上げるとき



ヘッドガードを下げるとき

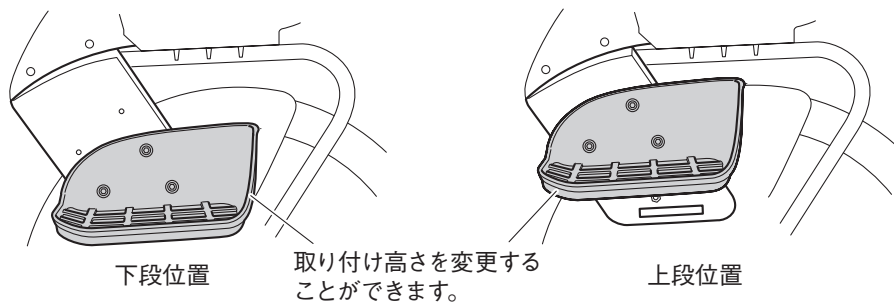


⚠ 警告

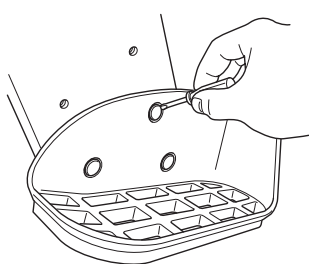
- ⊘→で指した隙間に指をはさまないようにご注意ください。
- お子様を乗せている時は、お子様の手などを隙間にはさまないようにご注意ください。

5. フットレスト (足乗せ) の高さ変更方法

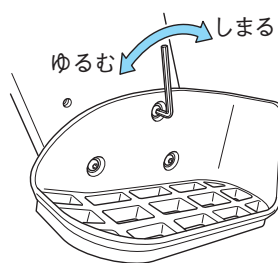
- フットレストはお子様の体格に合わせて高さを変更することができます。(上下二段階)



- 高さ変更の際はキャップを外し、ボルトをアーレンキー (六角レンチ) で外してください。



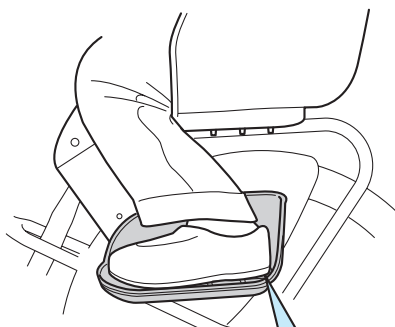
フットレストのキャップをマイナスドライバなどで外します。



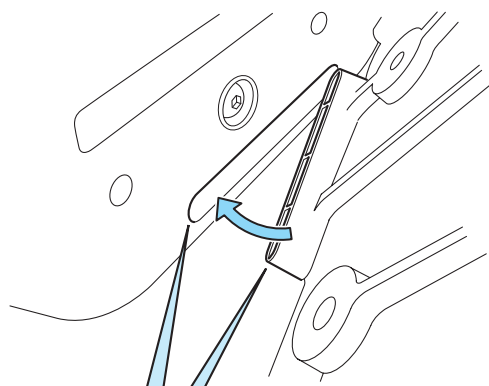
4mmアーレンキーでボルトをゆるめて抜きます。3ヶ所のボルトを抜くとフットレストが外せます。

⚠ ケガをしないようにご注意ください。

⚠ フットレスト高さ変更時のポイント



お子様のかかとがしっかり着く位置に合わせる



フットレストの凸部とチャイルドシート本体の長穴をしっかりと合わせてからボルトを締める

締付トルク：3～4N・m(30～40kgf・cm)

⚠ 取り付け高さ変更後は必ずフットレストが確実に固定されているか確認してください。

品質保証書

この製品は厳重に検査され出荷されたものです。
保証期間内にお客様の正常な使用状態（取扱説明書などに記載されている注意書きに従った使用状態）で不具合が生じた場合は、同等製品と無償交換いたします。

本保証書はお買い上げの年月日、販売店名、販売店住所、販売店電話番号を販売店が記入捺印することにより有効となります。

商品と本書及び商品名、販売名、販売日（購入日）が証明できる書類（レシート等）を合わせてお買い上げの販売店にご持参ご提示の上交換をご依頼ください。

なお本保証書は紛失されても再発行はいたしませんので大切に保管してください。

本保証書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

※次に示すものに起因する不具合は保証の対象となりません。

- (1) 使用者の使用上の不注意および取扱説明書などに記載されている注意書きに従わない使用によるもの。
- (2) 使用者が構造・機能を改造または変更したため生じたもの。
- (3) 一般的に機能上影響の無い感覚的現象。
- (4) 使用目的以外の酷使。
- (5) レンタサイクルなど不特定多数で使用される場合。
- (6) 地震、落雷、火災、水害、公害等人災、天災、地変によって生じたもの。
- (7) 保管場所の不備、転倒や落下及び時の経過により生じた不具合及び自然退色。
- (8) 製品の通常の摩擦又は疲労と認められたもの。
- (9) 盗難目的による破損。
- (10) 本商品の故障に起因する二次的故障や損傷。

本商品の不具合に起因する付随的費用（本商品を販売店に持ち込む為に要した費用等）につきましては責任を負いかねます。

| | | | | | |
|-------------|---|---|---|-------------|---|
| 商 | 品 | 名 | | | |
| 品 | 番 | | | | |
| 略 | 号 | | | | |
| 保 | 証 | 期 | 間 | お買い上げ日より1年間 | |
| お | 買 | い | 上 | げ | 日 |
| | 年 | 月 | 日 | | |
| 販 売 店 | 氏 | 名 | | | |
| | 住 | 所 | | | |
| | 電 | 話 | 番 | 号 | |

ブリヂストンサイクル株式会社

〒362-8520 埼玉県上尾市中妻3丁目1-1

お客様相談室

受付時間：9:00～12:00 / 13:00～17:00
(土・日・祝日及び弊社指定休日は休み)

フリーダイヤル：☎0120-72-1911
(国際電話・インターネット電話
でのご利用はできません。)

IA01-253
5, L